

学校编码: 10384 分类号密级

学号: 12220121152542 UDC

厦門大學

硕士学位论文

都贺庭钟的初期读本作品与白话小说“三言”的受容关系

——以《英草纸》、《繁野话》为例

都賀庭鐘の前期読本における白話小説“三言”の受容

——『英草紙』、『繁野話』を中心に

钟荣英

指导教师姓名: 吴素兰 副教授

专业名称: 日语语言文学

论文提交日期: 2015年4月

论文答辩日期: 2015年月

学位授予日期: 2015年月

答辩委员会主席:

评阅人:

2015年 月



## 厦门大学学位论文原创性声明

本人呈交的学位论文是本人在导师指导下,独立完成的研究成果。本人在论文写作中参考其他个人或集体已经发表的研究成果,均在文中以适当方式明确标明,并符合法律规范和《厦门大学研究生学术活动规范(试行)》。

另外,该学位论文为( )课题(组)的研究成果,获得( )课题(组)经费或实验室的资助,在( )实验室完成。(请在以上括号内填写课题或课题组负责人或实验室名称,未有此项声明内容的,可以不作特别声明。)

声明人(签名):

年月日



## 厦门大学学位论文著作权使用声明

本人同意厦门大学根据《中华人民共和国学位条例暂行实施办法》等规定保留和使用此学位论文，并向主管部门或其指定机构送交学位论文（包括纸质版和电子版），允许学位论文进入厦门大学图书馆及其数据库被查阅、借阅。本人同意厦门大学将学位论文加入全国博士、硕士学位论文共建单位数据库进行检索，将学位论文的标题和摘要汇编出版，采用影印、缩印或者其它方式合理复制学位论文。

本学位论文属于：

( ) 1. 经厦门大学保密委员会审查核定的保密学位论文，于 年 月 日解密，解密后适用上述授权。

( ) 2. 不保密，适用上述授权。

（请在以上相应括号内打“√”或填上相应内容。保密学位论文应是已经厦门大学保密委员会审定过的学位论文，未经厦门大学保密委员会审定的学位论文均为公开学位论文。此声明栏不填写的，默认为公开学位论文，均适用上述授权。）

声明人（签名）：

年月日



## 要旨

馮夢龍著の“三言”という中国明代の白話小説の日本への伝入は、日本人に新しい小説観を与え、初期読本の成立を見るに至った。読本の先駆者として都賀庭鐘の『英草紙』、『繁野話』と“三言”との受容関係をめぐり、各方面の研究者の関心を集めるようになって久しい。その中に、読本と“三言”との関係に関連する研究は多く存在しているが、篇ごとに詳細に論じたものが少ないのが現状である。

本稿はテキストの比較の立場から、江戸時代の読本作家の都賀庭鐘の前期読本作品『英草紙』、『繁野話』を研究の対象とし、研究の目標はこの二つの作品と中国の明の時代の白話小説“三言”との受容関係にある。そして、本稿において異同を検討する対象は、主に作品の各話における物語の発生時代と場所、登場人物の名前を含み、文章の構成、主題である。これらを論述することにより、都賀庭鐘は読本作品を創作する際、原話である“三言”の構成を如何なる改変し、またその改変は主題に如何なる影響を与えたかを究明する。それから、こういう点を明らかにした上、従来あまり注目されていないようである都賀庭鐘の前期読本作品の特色と後世への影響を纏めることも試みた。

本稿は次のような手順に沿って、結論へと導く。

まず、序論において、研究背景を紹介し、今までの先行研究には触れていないことを指摘した上で、本稿の研究目標と研究方法を明示する。

第一章では、都賀庭鐘の『英草紙』の九篇のうち、“三言”と関連のある七篇を取り上げ、篇ごとに対照研究してみた。まず、各自のあらすじを示すことにより、『英草紙』の中のその話は確かに“三言”から受容されたことを裏付けた。それから、あらすじを踏まえつつ、時代と場所、人物の名前の相違を簡単に触れ、主に両者の文章の構成、主題に重点を置き、それらの異同点を分析してみた。

第二章において、都賀庭鐘の『繁野話』の九篇のうち、“三言”と関連のある二篇だけを取り出し、第一章と同様に篇ごとに比較することを試みた。即ち、

両者のあらすじに基づき、一言で時代と場所、登場人物の名前の異同点を言及しながら、やはり文章の構成、主題に関してのことに力を入れたのである。

第一章と第二章を分析したことにより、『英草紙』、『繁野話』の文章の構成、主題からみる“三言”の受容関係は次のようなものであることがわかる。即ち、一つは文章の構成が同じ、主題が異なるもので、一つは文章の構成と主題と共に一致するものである。まず、前者の場合、都賀庭鐘は文章の構成に改変を施したことにより、主題を変えたのである。次に、後者の方において、都賀庭鐘は完全に原話をそのまま移したのではなく、やはり日本にふさわしい要素を取り入れたのである。

第三章では、第一章と第二章ですでに明らかになった都賀庭鐘の読本作品の構成、主題は“三言”からの受容と変容に基づき、都賀庭鐘の前期読本作品の特色及び後世への影響に関して考察を行った。まず、都賀庭鐘の前期読本作品の特色に関して、筆者は中村幸彦の指摘した小説観に基づき、第一章と第二章と照応させながら論じた。次に、後世への影響の部分では、主に上田秋成の『雨月物語』と都賀庭鐘の『英草紙』、『繁野話』との間に、作品の組み立て、名前の付け方、素材の選択、物語の特徴といった四つの側面から分析した。

本稿の結論としては、『英草紙』にしる、『繁野話』にしる、都賀庭鐘の前期読本作品は、その構成は大体原話の“三言”の構成に準拠し、そして、原話にないものを付け加えたり、原話のものを多少省略した、日本的な要素を取り入れたりすることにより、原話の主題と一致するものもあるが、異なるものもあるのである。そういうことも都賀庭鐘の前期読本作品の特色といえよう。それから、上田秋成は作品の組み立て、名前の付け方、素材の選択この三つの方面からは都賀庭鐘の影響を受けながらも、伝奇性か怪異性かといった物語の特徴に置いては秋成なりの発展するところもあるというのが本稿の主張である。

**キーワード：**都賀庭鐘前期読本構成主題特色

## 摘要

随着冯梦龙的中国明代白话小说“三言”传入日本，赋予了日本人新的小说观，促成了新的文学种类“初期读本”的形成。早期读本作者都贺庭钟所著的《英草纸》、《繁野话》与“三言”的渊源关系，早已引起相关领域研究者的关注。关于两者之间的影响关系的研究成果为数不少，但是逐篇详细论述的研究尚未被涉及。

本论文从文本比较的视角，以日本江户时期读本作家都贺庭钟的初期读本作品《英草纸》、《繁野话》为研究对象，旨在研究这两部作品与中国明朝时期的白话小说“三言”之间的影响关系。本论文主要从故事发生的时代、场所、出场人物的姓名、文章的结构、主题等角度出发，探明都贺庭钟在创作读本作品时，针对原文的“三言”在文章的构成上作了何种改变，并且该种改变又对文章的主题产生了何种影响。在此基础上，笔者试图概括总结了都贺庭钟初期读本作品的特色及其对后世的影响。

本文按照以下顺序进行分析并推导出结论。

首先，序论中介绍研究背景以及动态研究状况，指出当前研究所没涉及之处，在此基础上明确研究的目的、方法。

第一章里，把都贺庭钟《英草纸》九篇之中受“三言”影响的七篇与“三言”进行了逐篇比较。首先，笔者概括总结了两篇作品各自的故事梗概，从而印证了《英草纸》在创作过程中的确受到了“三言”的影响。然后，根据各自的故事梗概，一笔带过故事发生的时代、地点和出场人物的不同之处，重点分析了两者的文章结构、主题的同异点。

第二章采取与第一章相同的研究方法，把都贺庭钟《繁野话》九篇之中受“三言”影响的两篇与“三言”进行了逐篇比较。换言之，笔者在概括两者的故事梗概之后，简单涉及了两者在故事发生的时代和场所、出场人物的同异点，而把论述的重心放在了两者的文章构成、主题之上。

通过对第一章与第二章的分析得知，《英草纸》、《繁野话》的文章结构、主题与“三言”原话的结构、主题关系可以分成两类。一是文章结构与原话相同，

但主题不同；二是文章结构、主题均以原话相同。对于前者，都贺庭钟在创作过程中，对文章结构加以改变，使得主题与原文不同。对于后者，都贺庭钟并不是完全照搬原话，而是引入了符合自身国情的日本要素。

第三章以第一、二章为基础，阐述了都贺庭钟初期读本作品的特色及对后世的影响。首先，关于都贺庭钟初期读本的特色，笔者结合中村幸彦总结的“小说观”，对照第一章第二章进行了论述。然后，从上田秋成的《雨月物语》与都贺庭钟的《英草纸》、《繁野话》的章节构成、作品命名的方法、素材的选择、故事的特征四个方面来探明都贺庭钟初期读本作品对后世的影响。

通过以上考察，笔者得出以下结论：《英草纸》、《繁野话》等都贺庭钟初期读本作品在借鉴“三言”保持文章结构基本不变的情况下，通过添加、删除部分内容，亦或是引入符合日本风俗国情的要素，使得文章主题或与原文一致，或与原文不同。这些都可以说是都贺庭钟初期读本作品的特色。而且，笔者认为，虽然上田秋成在章节设置、作品的命名方法、素材的选择上深受都贺庭钟的影响，但是秋成在故事的特征，即是注重故事的传奇性还是怪异性上有着自己独特的地方。

**关键词：**都贺庭钟初期读本结构主题特色

# 目次

序論	1
第一節 問題意識	1
0.1 中国白話小説の定義及び馮夢龍の“三言”の日本伝入	1
0.2 読本の発生について	2
0.3 都賀庭鐘とその読本	4
第二節 先行研究	5
第三節 研究目標と方法	6
第一章 『英草紙』における“三言”の受容	8
1.1 序 『英草紙』について	8
1.2 『英草紙』と“三言”との対照考察	8
1.2.1 「後醍醐帝三たび藤房の諫を折く話」と「王安石三難蘇学士」	8
1.2.2 「馬場求馬妻を沈て樋口が婿と成る話」と「金玉奴棒打薄情郎」	11
1.2.3 「豊原兼秋音を聴きて国の盛衰を知る話」と「兪伯牙捧琴謝知音」	14
1.2.4 「黒川源太主山に入って道を得たる話」と「莊子休鼓盆成大道」	18
1.2.5 「紀任重陰司に至って滞獄を断くる話」と「閻陰司司馬貌断獄」	20
1.2.6 「白水翁が売ト直言奇を示す話」と「三現身包童凶断冤」	22
1.2.7 「高武蔵守婢を出して媒をなす話」と「裴晋公義還原配」	25
1.3 結び	26
第二章 『繁野話』における“三言”の受容	28
2.1 序 『繁野話』について	28
2.2 『繁野話』と“三言”との対照考察	29
2.2.1 「白菊の方猿掛の岸に怪骨を射る話」と「陳從善梅嶺失渾家」	29
2.2.2 「江口の遊女薄情を恨て珠玉を沈む話」と「杜十娘怒沈百宝箱」	31
2.3 結び	33
第三章 都賀庭鐘前期読本作品の特色及び後世への影響	35

3.1 序 .....	35
3.2 都賀庭鐘前期読本作品の特色 .....	35
3.3 都賀庭鐘前期読本作品の後世への影響 .....	38
3.4 結び .....	39
結論 .....	41
参考文献 .....	43
謝辞 .....	46

厦门大学博硕士论文摘要库

# 目 录

绪论 .....	1
<b>第一节 问题意识</b> .....	1
0.1 中国白话小说的定义以及冯梦龙“三言”之传入日本 .....	1
0.2 读本的产生 .....	2
0.3 都贺庭钟及其读本作品 .....	4
<b>第二节 先行研究</b> .....	5
<b>第三节 研究目的和方法</b> .....	6
<b>第一章 《英草纸》和“三言”的受容关系</b> .....	8
1.1 序 《英草纸》的成立与内容 .....	8
1.2 《英草纸》和“三言”的对比研究 .....	8
1.2.1 <后醍醐帝三挫藤房谏>与<王安石三难苏学士> .....	8
1.2.2 <马场求马沉妻成樋口婿>与<金玉奴棒打薄情郎> .....	11
1.2.3 <丰原兼秋听音知国之兴衰>与<余伯牙摔琴谢知音> .....	14
1.2.4 <黑川源太主入山得道>与<庄子休鼓盆成大道> .....	18
1.2.5 <纪任重阴司断滞狱>与<闹阴司司马貌断狱> .....	20
1.2.6 <渔翁卖卦直言示奇>与<三现身包龙图断冤> .....	22
1.2.7 <高武藏守做媒嫁婢>与<裴晋公义还原配> .....	25
1.3 小结 .....	26
<b>第二章 《繁野话》和“三言”的受容关系</b> .....	28
2.1 序 《繁野话》的成立与内容 .....	28
2.2 《繁野话》和“三言”的对比研究 .....	29
2.2.1 <白菊夫人猿挂岸勇射怪骨>与<陈从善梅岭失浑家> .....	29
2.2.2 <江口侠妓愤薄情怒沉珠宝>与<杜十娘怒沉百宝箱> .....	31
2.3 小结 .....	33
<b>第三章 都贺庭钟初期读本作品的特色及对后世的影响</b> .....	35
3.1 序 .....	35

3.2 都贺庭钟初期读本作品的特色 .....	35
3.3 都贺庭钟初期读本作品对后世的影响 .....	38
3.4 小结 .....	39
结论 .....	41
参考文献 .....	43
致谢 .....	46

厦门大学博硕士学位论文摘要

## 序論

### 第一節 問題意識

#### 0.1 中国白話小説の定義及び馮夢龍の“三言”の日本伝入

読本を知るためには、中国古代小説を知らなければならない。まず、中国古代小説の文体は大きく「文言小説」、「白話小説」とに分類されているのは今や常識のようにになっている。また、「文言小説」は雅文学とされ、「白話小説」は俗文学とされるのである。「文言小説」は文章全体が文語で書かれたものを指すのに対して、「白話小説」は俚言俗語で書かれたもので、唐宋以降の「説話」（講釈）に用いる「話本」（講釈師の台本）にその源を発し、明代に開花した中国俗語体小説をいう。<sup>①</sup>

中国明の時代の白話小説の代表作と言え、ば、“三言”を取り上げなければならないであろう。“三言”はその代表的なものとして、中国小説史上ひいては中国文学史上に重要な役割を果たしている。“三言”<sup>②</sup>とは明の馮夢龍著で、『喻世明言』（『古今小説』、『全像古今小説』とも呼ぶ）、『警世通言』、『醒世恒言』の総称である。一集ごとに40編の作品を収めて、合計120編になったものである。

次に、日本への伝入という点から、中国白話小説とは何かについて考えてみようと思う。中国白話小説が日本へ伝入した様相と、読本の発生に関してはすでに石崎又造氏の『日本近世における支那俗語文学史』<sup>③</sup>と、中村幸彦氏の「読本発生に関する諸問題」<sup>④</sup>に詳しく論究された。それらに拠り、日本における中国書籍の伝入及びその様相を紹介しておく。

中国書籍の日本への伝入は大きく三つの時期に分けられる。即ち遣隋使時代を背景とする近江奈良朝から延暦・弘仁を経て宇多天皇の寛平に至る二百数十

<sup>①</sup>松田修. 日本文学新史 近世. [M]. 東京：至文堂、平成2.10.25. 第225頁.

<sup>②</sup>上述の馮夢龍の“三言”（いわゆる『喻世明言』、『警世通言』、『醒世恒言』）に対して、『小説精言』、『小説奇言』、『小説粹言』の三書を、和刻小説三言という。和刻小説三言は明「三言」・『初刻拍案驚奇』及びこれより選刻される『今古奇觀』等によっており、『西湖佳話』より一編を選んだものである。『精言』、『奇言』は岡白駒、『粹言』は沢田一斎の訓訳である。松田修. 日本文学新史 近世. [M]. 東京：至文堂、平成2.10.25. 第226頁.

<sup>③</sup>石崎又造. 近世日本における支那俗語文学史. [M]. 東京：清水弘文堂書房、昭和42.9.15.

<sup>④</sup>中村幸彦. 「読本発生に関する諸問題」中村幸彦著述集第五巻. [M]. 中央公社論、1982. 8.

年間を第一期とすれば、京鎌倉五山の禅僧らの入宋元明時代は第二期で、長崎の貿易港を通じて交通した鎖国時代徳川三百年間は第三期である。第一期の内容は詩賦と文章に限られ、第二期は全く禅僧に限られ、対象も第一期と同様詩賦と文章にある。第三期の内容の豊富と質の向上と、又一般普及の広範なことに於いて、第一及び第二期に於いて未だ未曾有であった。端的に言えば、日本における千数百年に亘る漢文学史は近世に於いて空前にして絶後と思われるその黄金時代を現出したのである。<sup>①</sup>

“三言”は第三期の間にすでに日本に伝入した。それは、日本学者大庭脩の『江戸時代における唐船持渡書の研究』の「船載書目」によると、『警世通言』、『醒世恒言』、『今古奇観』<sup>②</sup>はそれぞれ1727、1743、1731年に船で日本に伝入するということからわかる<sup>③</sup>。

中国白話小説の日本への伝入は、日本人に新しい小説観を与え、初期読本の成立を見るに至った。次は読本の発生について紹介しておく。

## 0.2 読本の発生について

近世前期の小説の主要なジャンルとして、まずは初期の仮名草紙<sup>④</sup>とその後の浮世草子<sup>⑤</sup>が挙げられる。仮名草紙であれ、浮世草子であれ、中国の説話に関するものが少なからずある。浮世草子が流行する中で、中国の白話小説の日本への伝入してから、荻生徂徠が唐話（中国話を原音で話す）講習会を開いたこと、折から日本へ伝入してきた黄檗宗が尊崇を集めたことも相まって、唐話の教材として中国明、清の白話小説が好んで読まれ、浮世草子にない斬新さが歓迎されている<sup>⑥</sup>。したがって、低迷する浮世草子のかわりに、この時代に現

<sup>①</sup>石崎又造. 近世日本における支那俗語文学史. [M]. 東京: 清水弘文堂書房, 昭和 42.9.15. ここで補充しなければならないのは、第一期で詩賦と文章だけではなく、小説も日本に伝わったということです。

<sup>②</sup>“三言”の29編を収録する明代白話小説集。

<sup>③</sup>大庭脩. 江戸時代における唐船持渡書の研究. [M]. 関西大学出版部, 1967. 第 659-739 頁.

<sup>④</sup>仮名草紙とは、江戸時代の初期から井原西鶴の『好色一代男』が刊行されたころまでの、西暦でいうと一六〇〇年ごろまでの間に出版された仮名交じりで書かれた小説類をいう。日野龍夫・諏訪春雄. 『江戸文学と中国』. [M]. 毎日新聞社, 昭和 52.2.20. 第 139 頁.

<sup>⑤</sup>浮世草子は、江戸時代に生まれた前期近世文学の主要な文芸形式のひとつ。井原西鶴の『好色一代男』（1682年刊行）以降の一連の作品を、それまでの仮名草子とは一線を画するものとして、今日では浮世草子と呼ぶ（当時は「草双紙」と呼ばれ、「仮名草子」・「浮世草子」はのちになって区別されたもの）。元禄期、大坂を中心に流行し、民衆生活の幅広い主題を扱って多くの作品が書かれた（浮世には世間一般という意味と、色事、好色といった意味がある）。京都の八文字屋から出版されたものは特に「八文字屋本」と呼び、元禄から18世紀中頃の明和期まで刊行された。日野龍夫・諏訪春雄. 『江戸文学と中国』. [M]. 毎日新聞社, 昭和 52.2.20. 第 139 頁.

<sup>⑥</sup>榎本隆司. はじめて学ぶ日本文学史. シリーズ・日本文学史⑦. [M]. ミネルヴァ書房, 2010.5.20. 第

Degree papers are in the "[Xiamen University Electronic Theses and Dissertations Database](#)". Full texts are available in the following ways:

1. If your library is a CALIS member libraries, please log on <http://etd.calis.edu.cn/> and submit requests online, or consult the interlibrary loan department in your library.
2. For users of non-CALIS member libraries, please mail to [etd@xmu.edu.cn](mailto:etd@xmu.edu.cn) for delivery details.

廈門大學博碩士論文摘要庫